

2021 年度日本海洋学会第 3 回幹事会議事録

日時:2021 年 8 月 24 日(月)13:30~16:00

場所:Zoom を利用したオンライン開催

出席者:神田会長、伊藤副会長、岩本、梅澤、江淵、岡、乙坂、帰山、川合、高橋、土井、中野、西部、野口、三角、吉田、事務局(毎日学術フォーラム:平坂)

議題

1. 議事録(案)承認(三角幹事)

2021 年度第 2 回幹事会の議事録(案)が確認され、承認された。

2. 審議事項

(1) 入退会について(岡幹事)

2021 年 6 月から 7 月の入会者(43 名)と退会者(3 名)が承認された。2021 年 7 月末時点の会員数は、1446 名。

(2) シンポジウムの後援・協賛等について(岡幹事)

後援・協賛等について 4 件の依頼があり、承認された。

(3) 募集・推薦等の依頼(岡幹事)

公募・推薦 5 件、シンポジウム・講演等について 5 件、転載許諾 1 件、その他 1 件の依頼があり、学会ホームページにて公開、メーリングリストにて配信等の対応がなされたことが報告された。

(4) 海洋環境の事典:編集企画について(伊藤副会長)

海洋環境の事典の編集企画について提案があり、海洋学会の中で編集委員会を立ち上げることについて秋季評議員会に諮ることが承認された。

(5) JO 特集セクションの提案について(江淵編集委員長)

JO 特集セクションについて提案があり、承認された。

(6) 2021 年度秋季評議員会議事次第案について(岡幹事、梅澤幹事、乙坂幹事)

2021 年度秋季評議員会議事次第案について提案があり、承認された。

(7) 選挙の電子化について(中野幹事)

選挙の電子化について提案があり、引き続き検討することとなった。

(8) 2023 年度の秋季大会の開催地について(土井幹事)

2023 年の秋季大会の開催候補地について提案があり、候補地に打診することが承認された。

3. 報告事項

(1) 会長(神田会長)

新型コロナウイルスの感染拡大により、秋季大会が完全オンラインになったことが報告された。

情報セキュリティのガイドライン等については引き続き検討中であることが報告された。

井上學術賞の学会からの推薦について報告された。

日本海洋学会の法人化に向けた具体案の作成について、秋季評議員会で諮る予定であることが報告された。

(2) 集会(三角幹事)

秋季大会の授賞式・受賞記念講演の準備状況について報告された。

(3) 研究発表(土井幹事)

秋季大会およびそれ以降の大会の準備状況について報告された。

(4) 編集

① JO(江淵編集委員長)

JO(Vo. 75(1)から Vol. 77(5))の発行状況、投稿・受理状況について報告された。

特集セクションの発行状況、発行見通しについて報告された。

② 海の研究(吉田編集委員長)

海の研究第30巻4号が7月25日に発行されたことが報告された。第30巻5号は9月15日に発行予定であることが報告された。

特集「海洋学の10年展望2021」の編集状況について報告された。

③ ニュースレター(岩本編集委員長)

JOSニュースレター(第11巻3号)が11月1日発行予定であることが報告された。

80周年記念号について、2022年2月1日発行を目指して編集を進めることになったことが報告された。また、ゲストエディターとして安藤前編集委員長にゲスト編集委員を委嘱する予定であることが報告された。

(5) 広報(埴山幹事、川合幹事)

地学オリンピックの予選参加者に配布する冊子に広告を掲載したことが報告された。

広報委員会でエコバッグを作成したことが報告され、今後広報活動に利用することが述べられた。

(6) 海洋環境委員会(梅澤幹事)

青い海助成事業(緊急提案型)について募集しているが、現段階では応募がないことが報告された。

(7) 沿岸海洋研究会(梅澤幹事)

8月20日に委員会が開かれ、シンポジウムや出版物について報告があったことが述べられた。また、現在、研究会の監査はオンラインで実施しているが、今後もオンラインでの実施を継続することになったことが報告された。

(8) 教育問題研究会(川合幹事)

8月8、9日に女子中高生夏の学校がオンラインで開催され、9日に行われたポスター展示とキャリア相談に参加し、大林会員、川合幹事、野口幹事、村山様(日本エヌ・ユー・エス株式会社)が対応にあたったことが報告された。

7月31日に海洋教育学会の設立準備会の第2回の会合がオンラインで開催されたことが報告された。趣意書の内容について議論があり、改定が続けられていることが報告された。

8月28日にプレ学会のような位置づけで発表会が開催されることが報告された。発表会では、研究者に加え、NPO、教育現場の人など、様々な立場の人が発表する予定であることが報告された。

(9) 日本地球惑星科学連合(三角幹事)

JpGU2021大会のアンケート結果が公表され、JpGU-AGU Joint Meeting 2020と比べ概ね満足度の高い結果だったことが報告された。

(10) 日本海洋科学振興財団(伊藤副会長)

8月10日～13日まで海洋データ同化夏の学校がオンラインで開催されたことが報告された。

日本海洋科学振興財団の海外渡航援助プログラムが募集中であることが報告された。

(11) 研究に関する将来構想WG(高橋幹事、川合幹事)

研究に関する将来構想WGの総説論文について状況が報告された。80周年記念シンポまでに受理原稿をオンラインで公開予定であることが報告された。

研究に関する将来構想WGの総説論文について、海域の分け方や内容の難易度等に関してアンケートを実施予定であることが報告された。

(12) 男女共同参画(野口幹事)

8月9日に行われた女子中高生夏の学校の当日の様子等について教育問題研究会からJOSニュースレターに報告される予定であることが報告された。

8月23日に男女共同参画学協会連絡会 第19期第3回の運営委員会が開かれたことが報告された。第6期科学技術・イノベーション基本計画に女性研究者の登用に関して具体的数値目標が設定されたこと等が報告された。

11月1日に幹事学協会の交代が予定されており、日本技術士会から日本生物物理学会に交代する予定であることが報告された。

10月9日に第19回男女共同参画連絡会シンポジウムがオンラインで開催される予定であることが報告された。

10月20日から11月20日にかけて、第5回科学技術系専門職の男女共同参画実態調査が実施予定で、学会 ML に周知予定であることが報告された。

(13) 水産・海洋科学研究連絡協議会(伊藤副会長)

11月12日に日本学術会議主催の公開シンポジウムが実施される予定であることが報告された。詳細について確定し次第、学会 ML で周知予定であることが報告された。

(14) 若手支援(伊藤副会長)

9月9日から11日に実施される海洋若手研究集会はハイブリッド形式の予定だったが、完全オンラインでの実施に変更されたことが報告された。

秋季大会の開催期間中の9月15日 17:30から若手会員との懇談会を実施予定であることが報告された。また、懇談会の議題についてアンケートを実施中であることが報告された。

海洋学会のホームページの中に若手支援のページを作成予定であることが報告された。

(15) リクルート戦略(梅澤幹事)

海洋学会のホームページに海洋学に関する進路について相談をうける窓口となるページを作成する案について報告された。

(16) 80周年記念WG:記念行事について(乙坂幹事)

80周年記念シンポが9月13日13:00より開催予定であることが報告された。

9月下旬から80周年記念号の編集を開始予定であることが報告された。

記念品は8月25日に納品予定であることが報告された。

以上